

住民説明会での指摘  
ホームページ意見募集での指摘

# 1. 整備方針と目指す公園像

黒沢洞合自然公園拡張整備基本方針を念頭におきながら、南農生からの提案を土台にしてその内容を本公園の整備検討委員会で議論を深め、目指す公園像とその実現に必要な施設(整備)と運営について整理しました。

## 目指す公園像 『〇〇が〇〇できる公園』

## その実現に必要なハードとソフト

〇〇なので  
背景・理由・目的

〇〇(誰)が  
ターゲット

〇〇できる公園  
できること

### 1. 黒沢に自生する多様な生き物たちが寄ってきたくなる公園

H16~18年度(H19年  
3月竣工)整備でいろいろ  
な生き物呼び寄せた

トンボ クワガタ  
カブト チョウ 野鳥  
猛禽類

寄ってきたくなる場所・池  
餌場になる

### 2. 人と自然のつながりに対する理解を深める場となる公園

昔はたんぼだった土地

子どもたち・自然とのふれ  
あいを深めたい次世代  
自然の好きな人たち

たんぼの面影を感じる  
四季を感じる  
昼夜の自然観察

### 3. 子どもたちが「自然」のなかでの非日常の体験や時間を過ごせる公園

ビオトープ型の自然公園  
開けた空のある空間

子どもたち・自然とのふれ  
あいを深めたい次世代  
自然にふれあう機会が少ない  
人

観察と合わせて池に入る  
バードウォッチング  
川に近づける  
そり遊び 星空観察

### 4. 東西2000m級の山々の美しい景色に出会い昔の洞合を感じる公園

東西2000m級の山を  
眺められる場所  
三郷最高峰の黒沢山

足の不自由な方(高齢者等)  
や車椅子を使用した人も

借景に感動  
景色を通じて自然とふれ  
あう

① 「安心して過ごせる」という言葉に違和感。クマやオオスズメバチなど自然界は危険と隣り合わせ

### 5. 様々な人が安心して豊かな自然のなかで過ごせる公園

公園が広くなることで  
来入る人たちを受け入れ  
るには駐車場不足  
どあい冒険くらの活動  
時も駐車場不足気味  
既存のトイレまでの距  
離が遠くなる

自然を求めて車で訪れる  
様々な人  
自然にふれあう機会が  
少ない人  
教育保育機関の団体利用者

すれ違いができ安心して  
車を停めることができる  
安心して公園で過ごせ  
る空間(トイレ等)

→利用者が過ごしやすさを実感できる公園

#### ハード(施設整備)

#### ソフト(運営維持管理)

◆二段目か三段目に池(水辺)

○牧草などはなるべく回避

○外来種は取り除き現地に生育する在来種の植物を利用

◆木の実がつき、動物が来る植物を植栽

◆落葉広葉樹の植栽

◆夏に日陰になるような樹木の植栽

◆四季折々の花、野草、シンボルツリーの植栽

◆昔たんぼだったを想起させる造成。歴史を  
感じる要素を残置。

◆段階的に環境をつくっていきける水辺・湿性  
環境(たんぼ・池・ほたる水路等)

◆広場・草原性の環境

(星空がみえる広場・そり遊び可能な広場)

◆現在の駐車場の段を見晴らし台的空間にあわ  
せて足の悪い人でも座れる自然石ベンチ  
の設置

◆黒沢山と美ヶ原・鉢伏山を借景とした広場  
(東側の樹木の伐採含む)

◆駐車場の拡大(マイクロバス進入可能な縦  
断勾配の駐車場導入路もあわせて検討)

◆トイレ新設(中央の駐車場の拡大と一体で  
バリアフリー型のバイオトイレ)

◆足の不自由な方にも配慮したスロープや園  
路

◆車の退避スペースのある進入路  
(ただし公園区域のみ)

◇命の連鎖、つながりを伝える場とし  
ての活用

◇暮らしとのつながりを学べる場とし  
ての利用

◇公園周りの森林の継続的な手入れと  
間伐材等の活用

② 現状手入れができていないと感じた  
管理できないならつくりたくないほうがよいのでは？  
誰がどれくらい手入れするか計画するべき

◇持続性ある維持管理体制づくり  
・目指す環境に向かって工夫しながら環  
境管理できる体制・しくみの構築  
・参加型の維持管理を通じたつながりづ  
くり  
・段階的に環境をつくっていく体制やし  
くみ(市民参加での植栽等)

◇ビューポイントの選定・発信  
例)4段目からの黒沢山の眺望

◇クマ、サル等の有害鳥獣への対応  
(黒沢川上流部での対策、サル追い)

現状の手つかず感のある雰囲気ももちあ  
わせた公園に

## 2. 土地利用方針の設定

### 土地利用方針

- ① 中央の駐車場を拡張するとともに、この近くにトイレを整備。既設公園のトイレも維持。
- ② 既設駐車場の一带で見晴しポイントを周遊できる動線を確保
- ③ 4段目に駐車場としても利用可能な形で広場を確保(イベント対応)
- ④ 過去の土地利用をモチーフに、川寄りの南側エリアに湿性環境を創出(候補: 棚田形状の湿地・池・ホタル水路等)し、北側には草原的環境を整備
- ⑤ 3段目のエリアの道路沿いには待避所を設け、車の移動をやすくするとともに、下車・入園できるスペースを設け、緩やかな勾配の動線に接続



既存駐車場  
既存駐車場からの東側の眺め  
4段目  
市道との高低差が小さいため、乗り入れしやすい



既存バイオトイレ

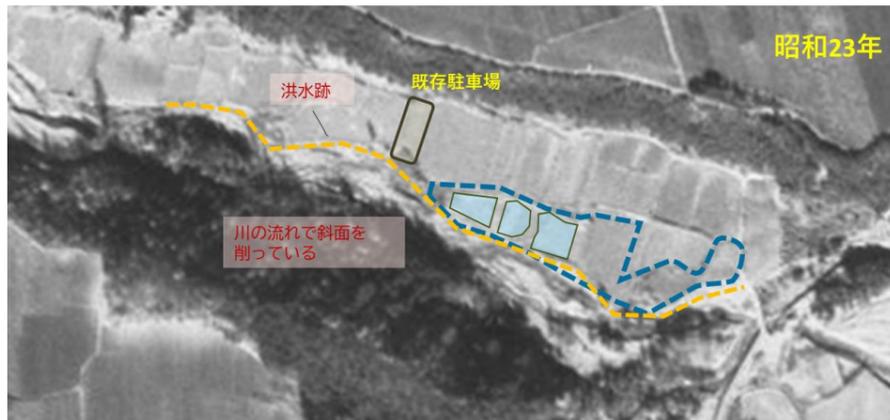


池A



池B

圃場整備前の時期の空中写真



ビューポイント(4段目からの黒沢山)  
※どあい冒険くらぶ活動報告より

基本計画平面検討図

◆南農生・検討委員会からの提案を踏まえた拡張整備の工夫

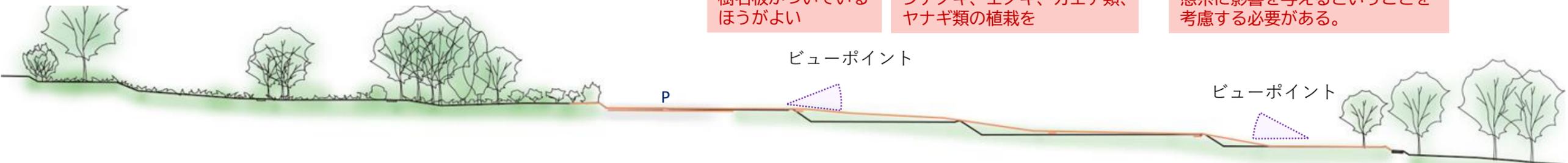
- ※1 中央の駐車場を拡張にあわせてマイクロバスなどの団体利用車両が近づきやすい入口を整備。駐車場付近で見晴しを楽しめる動線を確認。
- ※2 道路沿いには待避所を設け、そこから下車・入園できるスペースも確保し、緩やかな勾配の園路に接続。
- ※3 現状では駐車場の北側を水が流れており、田んぼビオトープ等の拡張区域の湿生環境と既存公園の水辺とが分断された形となるため、既設の公園からの通水を駐車場の南側とし、水辺のつながりに一体感を確保。
- ※4 北側の草地エリアでは、平坦面だけでなく芝そりなどでもできるような勾配のある斜面も一部に確保。傾斜や地形に変化をつけて利用と環境創造の両面から多様さをもたせた草地の空間を形成。
- ※5 園路の交差部の広場は必要最小限に設定。



◆造成・広場整備の方針

- 5つの平坦面と畔の段差が連なる地形の名残を残しつつ、利用や眺め、環境を考慮した土地利用の方針(前頁)を踏まえて造成。
- 上段の駐車場を主の入口とし、4段目のエリアはイベント利用時等の際の臨時駐車場として利用。
- 各段にシンボルツリーを定めて植栽。
- 大きな高低差が生じる箇所では石積み等も利用し、生き物のすみかにもなる空間づくりを展開。
- 進入路の南側の斜面となる一帯で、利用することもたちの安全確保と修景を兼ねて仕切りの植栽等を設ける。

【断面図】



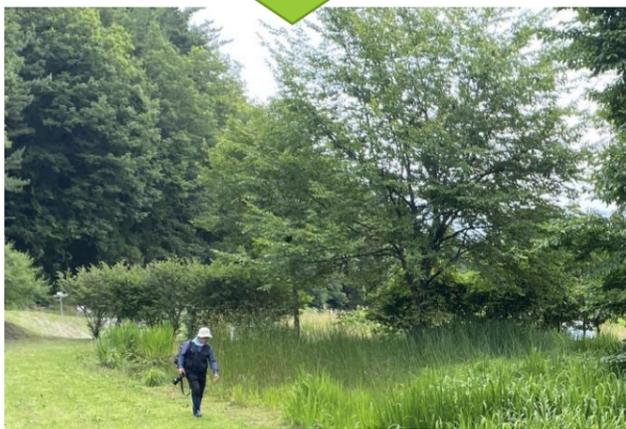
# 管理運営課題への対応【②関連】

1. 拡張整備にあわせた既開園区域への対応  
整備当初に近い状態に戻すような整備を行うかどうかの検討

例) キショウブ抜き取り  
水際の草本類の選択的抜き取り・刈り取り 等



整備当初の様子

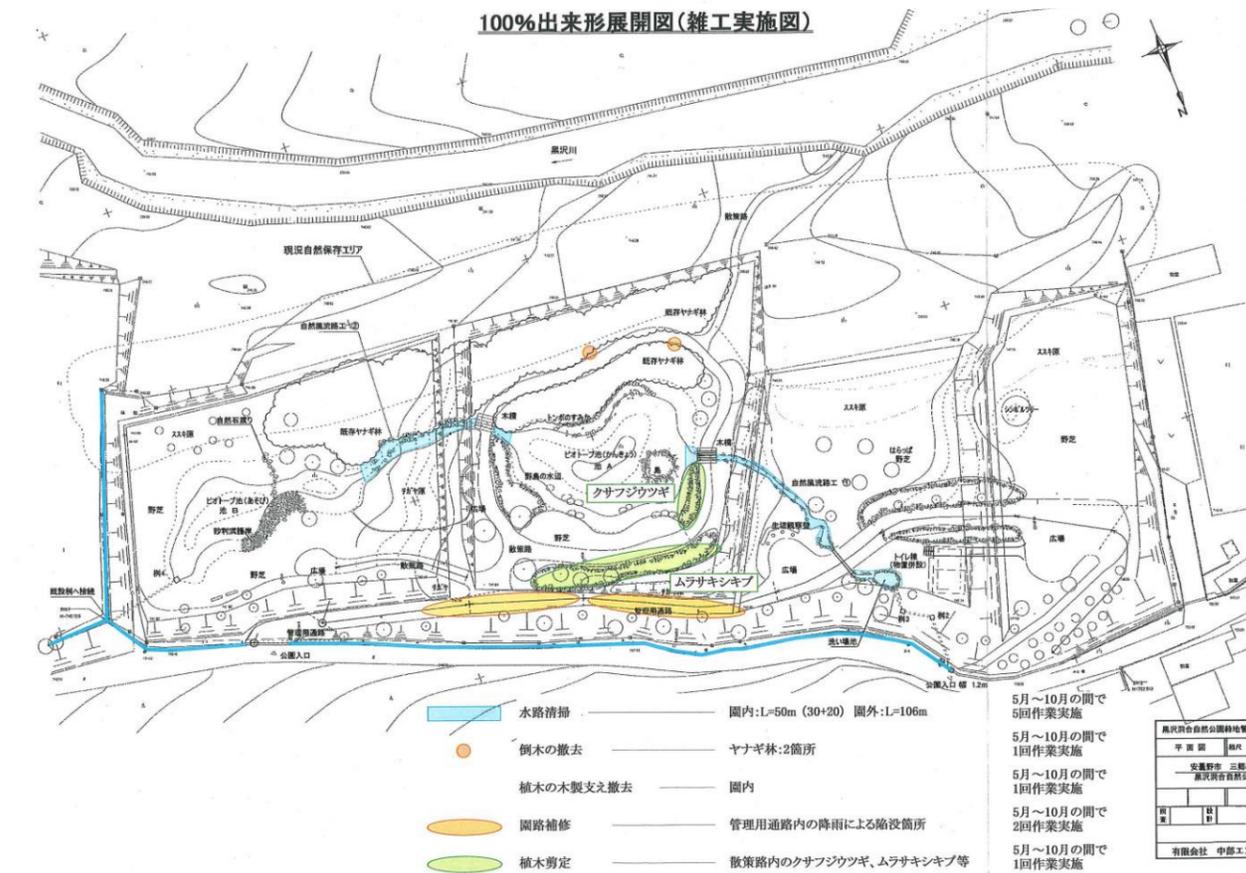
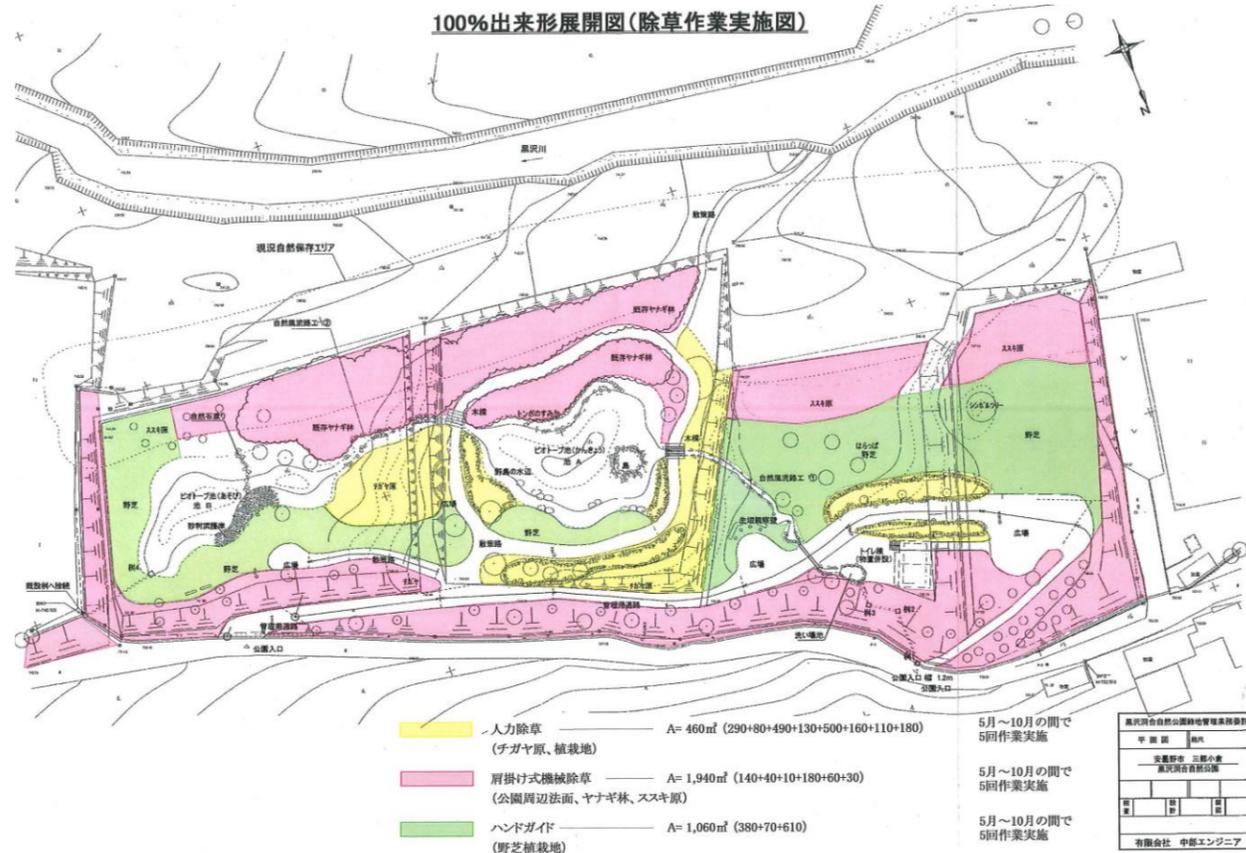


現在の様子

【参考例】飯綱高原大谷地湿原での  
キショウブ抜き取り



2. 環境管理の仕様の改定・詳細化  
とくに池一帯の管理の定期作業の詳細化（過去の資料：水際の管理は内容の規定なし）



H22当時の維持管理の着手前・着手後の比較写真

着手前  
2回目 (No.20)  
全景



竣工  
2回目 (No.20)  
全景



3. 常駐管理者の配置は「なし」を念頭に置いた対策の検討

・公園整備・利用・運営に関する協力者・連携先と行政とのつながりの輪の充実

冒険くらぶの活動【拡張敷地利用】



三郷中 生徒の整備への参加



南農生との現地検討



ピオトープ池のシート張り

## 進入路関連の対応【④関連】

調整池進入路に関する県の整備計画の確認



①市道

②調整池用の管理道路

いずれの道路も碎石舗装での仕上げの計画となっている

A1～B区間は今後整備予定で、この区間の整備が完了した後は、A2～Bの市道の機能は統合される予定。

よって将来的はA1～B区間は上流への進入路と調整池への進入路を兼ね、C地点で2つの方向に分岐する形になる予定。

県では、DとEのアクセスの整備も検討中。